

めだかくらぶ



文責 端 晶子

園庭でいっしょに遊ぼう!

大寒を過ぎてても2月はまだ寒さが続きそうです。それでも子どもたちは外で遊ぶことが大好きです。園庭へ出る園児の足取りは軽やかで、園庭では寒い日でも子どもたちの楽しそうな声がたくさん聞こえます。地域の皆さんも園庭でぜひ一緒に遊びましょう。

外遊びの中で子どもたちが様々な動きを経験し、力をつけていけるように、豊玉保育園ではプロジェクトを立ち上げて、園庭の環境作りを以前から行っています。子どもたちがより楽しく遊べるようにと園庭の環境を少しずつ工夫しています。新しい砂場や築山なども加わりました。



少し大きくなったら、ロープワークも!

小さい子用のブランコもあります

通称二段砂場。砂場が2階建てになっています。



ちょこっとコラム

いもむし ごーろごーろ

豊玉保育園では岩手県遠野地方に伝わる「遠野のわらべうた」を大切に、日々楽しんでいます。一つひとつ歌に子どもの心や身体を育てるための意味があり「人が人らしく生きていくための知恵」が詰まっています。ここでは、身体を使っ

てあそぶものを1つ紹介します。赤ちゃんの時に「ごろん ごろん ごろん」と転がるあそびは2、3歳になると「いもむし ごーろごーろ、ひょうたんぼっくりこ」と上手に転がってから、ぼっくり起き上がるあそびへと繋がっていきます。「生きていくうちには七転び八起きとって、かならず転ぶ時がある。その時はひょうたんみたいに、ぼっくりこって立つんだよ。転んでばかりではダメですよ」という教えが込められています。



一人でころかゆるようにしたら「ごろんごろんごろんごろんごろんごろん」とうたいかかてやる。

上手にころかて、あそべるようになれば

「いもむし」「ごーろごーろ」「ひょうたん」「ぼっくりこ」



(小学生ぐらいには「はなをくんくん」や「はなをくんくん」を遊ぶようにする)

【参考文献】 阿部ヤエ 著 「わらべうた」で子育て応用編 福音館書店

1月のめだかくらぶ

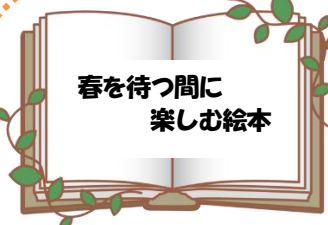
先月は、看護師が「冬の健康(スキンケア)について」お話ししました。乾燥の冬、子どものスキンケアは欠かせません。しっかり保湿してあげてください。

保育園は保育士だけでなく、看護師や栄養士、と専門的な職員がいる場です。何かありましたら電話などでもご質問・ご相談ください。



春を待つ間に楽しむ絵本

待ち遠しい春を思いながら楽しむ本の紹介です。



「ねっこぼっこ」 平凡社

作・絵：ジビュレ・フォン・オルファース 訳：秦 理絵子

『さあおきなさい、もうすぐ春がやってくる』大地のかあさんの声で土の中の「ねっこぼっこ」は目覚めます。

「ぼとんぼとんはなんのおと」 福音館書店

作：神沢 利子 絵：平山 英三 春を待つ熊の母子の交流と、季節の移り変わりを暖かい言葉と絵で描いた絵本です。



「はなをくんくん」 福音館書店

文：ルース・クラウス 絵：マーク・シーモント 訳：きじま はじめ

雪の下で冬眠していた動物たちが、はなをくんくんさせて…美しい絵と詩のような文で、自然の喜び、素晴らしさを感じます。

*絵本の貸出を行っています。おうちでゆっくりたくさん絵本を楽しんでください。

2月・3月の

めだかくらぶの予定

2月2日(金) 10:00

節分・2月の誕生日会



3月1日(金) 10:00

ひなまつり・3月の誕生日会

当日、ふれあいランチも行います。ふれあいランチは事前予約が必要です。先着3名。すでに予約を開始しています。費用は1食250円。(離乳食には対応しておりません。)